

津市母子保健推進員(愛称:つぼみん)を募集

母子保健推進員は、子育て中の人の身近な相談役として、主に第2子以降の赤ちゃん訪問を行い、安心して子育てができるよう見守るヘルスポランティアです。

活動内容

- 訪問を希望する妊婦への家庭訪問
- 乳幼児のいる家庭への訪問
- 妊産婦教室、のびのび身体計測、離乳食教室などへの協力
- 子育てひろばの開催
- 研修会(年3回程度)の参加 など

対象(以下の全てを満たす人)

- おおむね65歳までの女性
- 全5回の養成研修会に出席が可能な人
- 養成研修会終了後、母子保健推進員として家庭訪問などの活動ができる人

- 母子保健に対して熱意があり、個人情報に配慮の上、責任を持ってボランティア活動できる人

養成研修会

と き 5月29日(金)、6月9日(火)・19日(金)、7月3日(金)・31日(金)10時~12時 ※このほか、6~7月中に子育てひろば、赤ちゃんの離乳食教室などの見学があります。

ところ 中央保健センター

申し込み 5月20日(水)までに直接窓口または電話で同保健センター(☎229-3164)へ



つぼみん

母子保健推進員は、「津市の母子をみんなで支えよう」という願いをこめて、愛称「つぼみん」として活動しています。

子宮頸がん予防接種のお知らせ

子宮頸がん予防ワクチンにはサーバリックス(2価)とガーダシル(4価)の2種類あります。計3回接種し、接種完了には6カ月程度の期間が必要です。いずれも同じワクチンを3回続けて接種します。

※子宮頸がんの原因の約50~70%を占めるとされる2種類の型に対して感染予防効果があります。

平成25年から国の通知により、積極的な勧奨(個別通知)を控えています。希望する人は、有効性とリスクを十分に理解した上で接種することができます。

対象 小学6年生~高校1年生に相当する年齢の女子(令和2年度の対象者は、平成16年4月2日~平成21年4月1日生まれの人)

※平成16年4月2日~平成17年4月1日生まれの人は、接種対象の期間が令和3年3月31日

までです。

※予診票の発行については、各保健センターへお問い合わせください。

子宮頸がん 主にヒトパピローマウイルス(HPV)に感染することで子宮の入り口にできるがんです。年間約1万人が発症し、約2,700人が亡くなっているといわれています。近年20歳代・30歳代の患者が増えています。

ヒトパピローマウイルス(HPV) 皮膚や粘膜に感染するウイルスです。感染しても、多くの場合ウイルスは自然に検出されなくなりますが、一部が数年~十数年間かけて子宮頸がんを発症します。



津市健康づくり実践企業・団体 を募集

職場や地域で健康づくりを進める企業・団体に登録証と登録ステッカーの交付、健康に関する情報提供や健康教育を行っています。詳しくは、津市ホームページをご覧ください。

HP 津市 健康づくり実践

検索